

機関番号：33901

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2008～2010

課題番号：20252001

研究課題名(和文) 西部大開発をめぐる日中共同の実証的研究

研究課題名(英文) A empirical joint study by Japan and China on Chinese west area's development

研究代表者

古澤 賢治(FURUSAWA KENJI)

愛知大学・現代中国学部・教授

研究者番号：80181452

研究成果の概要(和文)：中国西部大開発と関連する経済・政治・文化等の変化を多面的に研究した結果、かなり進展がみられるものの、農民間格差拡大、民族間融和等の面ではなお課題が残っている。

研究成果の概要(英文)：A study of economy, policy, culture and so on relates to Chinese development in the area of the west clarified considerable change of the situation, but there are still so many problems, for instance difference expansion and minority issues and so on.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	9,100,000	2,730,000	11,830,000
2009年度	9,500,000	2,850,000	12,350,000
2010年度	9,600,000	2,880,000	12,480,000
総計	28,200,000	8,460,000	36,660,000

研究分野：中国経済

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：地域研究、現代中国学、中国西北地域、民族間矛盾、環境・水、貧困・福祉、民俗・文化、日中共同研究

1. 研究開始当初の背景

中国は国内の深刻な地域間格差と環境・エネルギー・社会福祉等の問題に依然苦しんでいる。中国国務院は1999年西部大開発に重点を置く「大綱」を確立、2005年「大西北総合経済区」構想の主管機関の一つに寧夏社会科学院を定めて、これを「国家社会科学領域西部地域研究プロジェクト支援」の重点対象に選出した。本学国際中国学研究センターは、その直後2005年同院と「日中合作西部開発共同研究センター設立に関する合作協議書」を締結、同「合作共同センター」(CJCJSと略)を設立、事務所を寧夏社会科学院内に設置した。

2. 研究の目的

本研究は1999年予備研究の第1段階とし

て「水の問題」を研究テーマにスタート。2004年に予備研究の第2段階に入り、西部開発のマクロ・ミクロ的検討を行った、本年度以後第3段階に入り、CJCJSの組織下に寧夏周辺諸省4省の6箇所でも年2回の定点調査を継続実施、i. 貧困・福祉問題、ii. 環境・自然生態系問題、iii. エネルギー・水資源問題、iv. 域内・域外間貿易・投資・技術移転問題、v. 民族間矛盾と区域自治権空洞化問題、vi. 民俗・文化・歴史変遷問題の6課題を中心に6研究会を組織し総合分析を行う。さらに日中間の研究・人材交流も進める。方法論としては「コ・ビヘイビオリズム」(主体間態度連動論)を使用。本研究の最終目標は日中の中国研究学界に新たな「現代中国学」の実効性を明らかにすることによって欧米学界への認知も広げ、ひいてはグローバルな範囲で

研究方法論に革新をもたらすこと、持続的な国際的かつ民際的な共同研究を展開し、同時に具体的で実効性を伴う政策提言を行うことによって、新たな実践研究の「場」を制度構築する点にある。

3. 研究の方法

日中専門家による共同研究を方法とし、現地面接調査、現地アンケート調査、現地討論会を通じて共通の知見を得る。

4. 研究成果

共同研究の成果は報告書としてまとめ印刷・配布した。また、共同研究参加者は下記の通りの媒体を通じて、研究成果の公開・発信を行った。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 16 件)

- ①周星、古村落の観光資源化—陝西省韓城市党家村を事例として—、中国 21、査読有、34 巻、2010、243-264
- ②鈴木規夫、イスラームと平和、早稲田平和学研究、査読無、第 3 号、2010、1-20
- ③高橋五郎、爆食の国中国の農業は危機的状況にある、週刊エコノミスト、査読無、第 88 巻、2010、78-83
- ④Goro Takahashi (高橋五郎)、The need of East Asian Agricultural Community and the Framework、Agriculture and Agricultural Science Procedia、査読有、No.1、2010、311-320
- ⑤高橋五郎、進出先に対する中国経済の影響—輸出する物価引下げ効果—、愛知大学国際中国学研究センター『ICCS 現代中国学ジャーナル』(電子ジャーナル)、査読無、第 2 巻第 1 号、2010、18-37
- ⑥高橋五郎、中国水利資本ストックの事例的考察—山東省蒼山県環境保全型農業事例から—、愛知大学国際問題研究所紀要、査読無、135、2010、1-22
- ⑦馬場毅、近代中国華北農村の水利組織と村落、宗教圏について—河北省邢台県を例として—、愛知大学国際問題研究所紀要、査読無、135、2010、23-37
- ⑧馬場毅、中国の対外教育—孔子学院を中心に—、愛知大学国際中国学研究センター『ICCS 現代中国学ジャーナル』(電子ジャーナル)、査読有、第 2 巻第 1 号、2010、212-220
- ⑨馬場毅・周星、寧夏農村の建国後の変遷について、愛知大学国際問題研究所紀要、査読無、第 136 号、2010、241-264
- ⑩加々美光行、現代中国の国家原理と民族問

題のゆくえ、中国研究月報、査読有、63、2009、2-12

- ⑪周星、古村鎮在当代中国社会的「再発見」、温州大学学报(社会科学版)、査読有、第 22 巻第 5 期、2009、3-11
- ⑫高橋五郎、農地紛糾事件頻発と対策法の効果—中国で今、起きていること—、共済と保険、査読無、51 巻第 8 号、2009、42-48
- ⑬高橋五郎、中国農業産業化と企業の土地支配、東亜、査読無、501、2009、20-27
- ⑭藤田佳久、東亜同文書院生が記録した 90 年前の中国・青海の地域像、愛知大学東亜同文書院大学記念センター・オープンリサーチセンター年報、査読無、3、2009、239-254
- ⑮加々美光行、「中国」という国家のジレンマ、環、査読無、34、2008、110-125
- ⑯高橋五郎、企業経営化する中国農業、共済と保険、査読無、50 巻第 7 号、2008、32-37

[学会発表] (計 35 件)

- ①鈴木規夫、方法としての—即多/多即—イスラームにおけるタウヒードと東アジア共生—、富山大学東アジア「共生」学学際的融合研究第一回国際シンポジウム、2011年2月13日、富山国際会議場
- ②藤田佳久、西部大開発にともなう青海省の環境変化と環境政策、経済地理学会中部支部2月例会、2011年2月12日、中部大学
- ③宮沢哲男、青海省の水環境—水力発電—、経済地理学会中部支部2月例会、2011年2月12日、中部大学
- ④鈴木規夫、シャロームとパックスとサラームとのあいだ—アブラハムの信仰の封印としてのイスラーム—、武蔵野大学政治経済研究所、2010年12月18日、武蔵野大学
- ⑤高明潔、2010 中国(寧夏)アラブ貿易&論壇をめぐって、愛知大学国際中国学研究センター第 2 回中国の国際化に関するワークショップ「拡大する中国の国際的影響と国際社会の対応」、2010 年 12 月 5 日、愛知大学
- ⑥高橋五郎、中国輸出の拡大と相手国賃金・物価との関係—P. クルグマンと姚祥を繋ぐもの—、愛知大学国際中国学研究センター第 2 回中国の国際化に関するワークショップ「拡大する中国の国際的影響と国際社会の対応」、2010 年 12 月 5 日、愛知大学
- ⑦馬場毅、寧夏回族自治区における節水型農業、農村建設、愛知大学国際中国学研究センター第 2 回中国の国際化に関するワークショップ「拡大する中国の国際的影響と国際社会の対応」、2010 年 12 月 5 日、愛知大学
- ⑧宮沢哲男、青海省の水環境、愛知大学国際中国学研究センター第 2 回中国の国際化に関するワークショップ「拡大する中国の国

- 際的影響と国際社会の対応」、2010年12月5日、愛知大学
- ⑨ 李春利、新興国企業のM&Aによる海外展開—中印自動車産業を中心に—、愛知大学国際中国学研究センター第2回中国の国際化に関するワークショップ「拡大する中国の国際的影響と国際社会の対応」、2010年12月5日、愛知大学
- ⑩ 周星、従政治宣伝画到旅遊商品—戸県農民画：現代中国一種藝術「伝統」的創出與再生産—、2010 藝術人類学国際会議、2010年11月5日、中国芸術研究院
- ⑪ 李春利、从汽车产品架构的演变看新能源汽车的定位与发展走向、中国科学技术协会第12届年会“新能源汽车发展论坛”特邀报告、2010年11月2日、中国福建省福州
- ⑫ 鈴木規夫、コトバの学としてのイスラーム神学—スポーツからカラムヘ—、言語学談話会、2010年10月2日、愛知大学
- ⑬ 藤田佳久、青海省調査と青海省の環境変化について、青海省社会科学院学術報告会、2010年9月17日、青海省社会科学院
- ⑭ 周星、面食之路與禿禿麻食、“新疆民俗文化”国際研討会、2010年8月29日、石河子大学
- ⑮ 鈴木規夫、イスラーム政治神学と日本—政治神学をめぐる理論的諸問題—、“新疆民俗文化”国際研討会、2010年8月29日、石河子大学政法学院
- ⑯ 鈴木規夫、What is Islam for Modern Japanese?、International Relations Forum at Department of International Relations, University of Muhammadiyah Malang、2010年8月10日、University of Muhammadiyah Malang Hall
- ⑰ 周星、日本保護非物質文化遺産の経験及其对中国の啓示、青海省社会科学院学術報告会、2010年8月5日、青海省社会科学院
- ⑱ Chunli Lee、The Sino-US economic relationship and the Chinese ‘Green New Deal’: The outlook for new energy supply bases in the western China、Shanghai Forum 2010, Sub-Forum: “New Energy and Low-Carbon Economy: The Engine for Asia Economic Transformation”、2010年5月30日、復旦大学
- ⑲ 鈴木規夫、近代日本における〈宗教〉概念の展開とイスラーム、新疆師範大学歴史民族学院研究会、2010年3月6日、新疆師範大学
- ⑳ 馬場毅、中国の対外教育—孔子学院を中心に—、愛知大学国際中国学研究センター2009年度国際シンポジウム「現代中国の国際的影響力拡大に関する総合的研究」、2009年12月19日、愛知大学
- ㉑ 藤田佳久、中国乾燥地域の日本人による緑化活動、愛知大学国際中国学研究センター2009年度国際シンポジウム「現代中国の国際的影響力拡大に関する総合的研究」、2009年12月19日、愛知大学
- ㉒ 鈴木規夫、世界政治論におけるイスラーム政治神学—デリダ後の政治的なるものへの余白に—、日本政治学会、2009年10月11日、日本大学
- ㉓ 高橋五郎、The trend and background of overseas expansion of Chinese enterprise、中国企業・産業創新国際研究大会、2009年9月4日、浙江大学
- ㉔ 周星、非物質文化遺産与中国的文化政策、寧夏社会科学院学術報告会、2009年9月3日、寧夏社会科学院
- ㉕ 鈴木規夫、アメリカの時代の終わりとして日本における政権交代の意味、寧夏社会科学院学術報告会、2009年9月3日、寧夏社会科学院
- ㉖ 馬場毅、近代中国華北農村の水利組織和村落、宗教圈問題、第3回近代社会史国際学術研討会「近代中国的社会活動、社会控制与文化传播」、2009年8月28日、貴州師範大学
- ㉗ 藤田佳久、The Development of Toa-Dobun-Shoin College at Shanghai from 1901 to 1945, and their Great Trips for Regional Reserches on China、14 th International Conference of Historical Geographers、2009年8月26日、京都大学
- ㉘ 周星、祖先崇拜与民俗宗教、第5回青年民間文化論壇、2009年8月8日、中山大学
- ㉙ 周星、The Rediscovery of Ancient Bourgs in Modern China Society、Interdisciplinary Workshop The Revitalization and Invention of Tradition: Destruction und Reconstruction of Religious Sites and Rites in Post-Socialist China、2009年3月6日、Bielefeld University
- ㉚ 高橋五郎、Collapsing of Chinese family farming—An appearance and expansion of Company-style farming—、香港經濟学会、2008年12月17日、中国四川省成都
- ㉛ 藤田佳久、開発に伴う環境変化と和諧社会—青海省の場合—、愛知大学国際中国学研究センター2008年度国際シンポジウム「中国をめぐる開発と和諧社会」、2008年12月6日、愛知大学
- ㉜ 周星、文化体制改革意味着什麼?、愛知大学国際中国学研究センター2008年度国際シンポジウム「中国をめぐる開発と和諧社会」、2008年12月5日、愛知大学
- ㉝ 周星、陝西省韓城市党家村の花馍、礼馍及蒸食往来、中国藝術人類学学会主催「2008

年中国芸術人類学論壇暨国際学術会議」、
2008年11月2日、中国芸術研究院

- ⑭加々美光行、現代中国の国家原理と民族問題のゆくえ、中国研究所2008年度現代中国公開講座、2008年10月25日、文京シビックセンター
- ⑮高橋五郎、中国研究と社会調査の重要性ー<中国海外調査管理法>と中国研究ー、中国南京大学社会学研究20周年記念国際学会、2008年10月25日、南京大学

[図書] (計9件)

- ①加々美光行、世界書院、裸の共和国ー現代中国の民主化と民族問題、2010、229
- ②加藤哲郎・丹野清人(著)、鈴木規夫(共著)、日本経済評論社、民主主義・平和・地球政治(21世紀への挑戦7)、2010、145-180/284
- ③渡辺利夫(監修)、朱炎(編)、李春利(共著)、勁草書房、国際金融危機後の中国経済ー内需拡大と構造調整に向けてー(21世紀政策研究所叢書)、2010、177-217/277
- ④李春利・山田剛、日本経済研究センター・インド研究会、拡大アジアを拓く インド・中国ー大海アジアの巨象と巨龍(2010年度アジア研究報告書)、2010、153-174/180
- ⑤鈴木規夫、国際書院、世界政治を思想するI、2010、201-251/291
- ⑥高橋五郎、朝日新聞出版、農民も土も水も悲惨な中国農業、2009、253
- ⑦加々美光行、岩波書店、中国の民族問題ー危機の本質、2008、334
- ⑧馬場毅・張琢編、日本評論社、改革・変革と中国文化、社会、民族、2008、87-100/322
- ⑨周星、人類学者如何看待民俗的芸術、芸術人類学的理論と田野、2008、35-42/858

[その他]

ホームページ等

<http://iccs.aichi-u.ac.jp/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

古澤 賢治 (FURUSAWA KENJI)
愛知大学・現代中国学部・教授
研究者番号：80181452

(2) 研究分担者

加々美 光行 (KAGAMI MITSUYUKI)
愛知大学・現代中国学部・教授
研究者番号：80267880
(H21：連携研究者)

※2010年12月1日付にて研究分担者を辞退

高 明潔 (GAO MINGJIE)
愛知大学・現代中国学部・教授

研究者番号：60260113

佐藤 元彦 (SATO MOTOHIKO)

愛知大学・経済学部・教授

研究者番号：10211947

馬場 毅 (BABA TAKESHI)

愛知大学・現代中国学部・教授

研究者番号：30410559

周 星 (ZHOU XING)

愛知大学・国際コミュニケーション学部・教授

研究者番号：00329591

鈴木 規夫 (SUZUKI NORIO)

愛知大学・国際コミュニケーション学部・教授

研究者番号：70271468

高橋 五郎 (TAKAHASHI GORO)

愛知大学・現代中国学部・教授

研究者番号：50269130

藤田 佳久 (FUJITA YOSHIHISA)

愛知大学・文学部・教授

研究者番号：70068823

宮沢 哲男 (MIYAZAWA TETSUO)

愛知大学・経済学部・教授

研究者番号：90121350

李 春利 (LI CHUNLI)

愛知大学・経済学部・教授

研究者番号：20301624

(3) 連携研究者

佐藤 元彦 (SATO MOTOHIKO)

愛知大学・経済学部・教授

研究者番号：10211947

(H21、H22)

加々美 光行 (KAGAMI MITSUYUKI)

愛知大学・現代中国学部・教授

研究者番号：80267880

(H21)

馬場 毅 (BABA TAKESHI)

愛知大学・現代中国学部・教授

研究者番号：30410559

(H22)